

平成29(2017)年度 総合法政専攻「Sセメスター」授業時間割表

2017/5/8現在

		1限(8:30~10:15)		2限(10:25~12:10)		3限(13:00~14:45)		4限(14:55~16:40)		5限(16:50~18:35)		6限(18:45~20:30)			
月	(実) ※◎△国際ビジネス法	唐津・平野(温)	22	(実) ◎★金融商品取引法	松尾	201	(実) ◎★△国際空間秩序と法	中谷	19	(実) ※◎★フランス民事訴訟法文献講読	垣内	A5	(全) ※△Law and Society in East Asia	松原	B3
				(政) △政策分析	田邊	402	(政) (総文)代表民主政府の理論と実証	樋渡	A1	(基) 近現代中国法概観(12)	高見澤	東文研 第2会議室	(実) ※◎★ドイツ公法学文献講読	太田(匡)	A6
				(実) ◎★労働法	荒木	305	(政) (総文)朝鮮半島をめぐる国際関係	木宮	駒場	(政) ※△政治とマスメディア演習 I	谷口・曾我	204	(実) ※◎★財政危機と実物経済活動	中里・米田	21
							(実) ◎★租税法	増井	101	(政) ※△(総文)新領域(学)現代中国の政治	高原	22	(実) ※◎△税制と分配的正義(7)	増井	B6
							(実) ◎商事判例研究			(政) ※△(総文)新領域(学)現代中国の政治	唐津 他	Y505	(基) ※現代法哲学の基本問題(15)	井上(達)	A4
火	(実) ◎★消費者法	沖野	21	(全) ※△Introduction to International Conflicts	藤原	26	(実) ◎★経済法	白石	305	(全) ※◎★△ヨーロッパ法と国内法	伊藤(洋)	A6	(全) ※△国際政治と国内政治の連動	藤原	A4
	(実) ◎★民事執行・保全法	菱田	102	(実) ◎国際法外国語文献講読	森	A1	(実) ◎★知的財産法	大淵	101	(実) ◎★△地方自治の諸問題	宇賀	203	(実) ※◎★△行政組織法・公務員法・公物法の研究	宇賀	201
	(政) ※△国際政治経済論	飯田(敬)	22						(実) ◎★△国際経済法	岩澤・中谷	305	(実) ◎★△アジアビジネスと企業法務	平野(温)	403・404	
	(実) ◎★知的財産法	城山(康)	301						(実) ◎★知的財産法関係重要判例研究	大淵	B1	(実) ※◎★会社法と理論的研究	藤田	402	
									(基) ※★ドイツ語研究文献入門	源河	A3	(実) ※◎★商取引法研究	後藤	B6	
水	(政) ※△都市行政学	金井	26	(実) ◎★租税法事例研究	増井	304	(実) ◎ドイツ民事訴訟法文献講読	高田	Y2	(実) ◎租税法文献講読	藤谷	A4	(基) ◎★英米法総論	浅香	404
				(政) (学)世論と投票行動	前田(幸)	A1	(基) ◎法と行動経済学	飯田(高)	社研 308号室	(基) ◎★現代法哲学	井上(達)	203	(全) ◎★(総文)ヨーロッパ法	伊藤(洋)	204
				(政) ※△Politics and Public Policy	前田(健)	26	(政) △比較政治学・概論	マッカルウェイン	304	(基) ※◎△Comparative Trusts Law	FISHER	B2	(実) ◎★△国際租税法	増井・伊藤 (剛)	305
				(政) (総文)戦後デモクラシーの再検討	平島	A2				(政) (総文)質的分析の方法	内山	駒場	(実) ※◎商事信託法の諸問題	小野	A3
										(政) ※△自治体行政聴査(通年)			(基) ※★ドイツ帝政期の公法学	海老原	304
木	(政) △事例研究				金井	402				(全) ※◎★現代アメリカ法	柿嶋 他	305	(実) ◎先端ビジネスローセミナー(通年)(隔週)	神作・白石	A3
				(実) ◎★△財政法	中里・藤谷	102				(基) ※◎△English Contract Law	FISHER	Y2	(実) ◎★労働法	山川	204
				(基) ★法分野における翻訳の諸問題	海老原 他	301				(政) ※△現代日本政治文献講読(隔週)				谷口	A1
				★△法のパースペクティブ: Japanese Law as Viewed from Abroad	FOOTE	404				※△(総文)(新領域)(学)現代中国の内政	林(載)	19			
				(政) アジア政治外交史料会誌	平野(聡)	A2				(実) ※日本国憲法制定経過の研究(1)(隔週)					日比野
金	(実) ◎★知的財産法	城山	301	(実) ◎★租税法	増井	101	(実) ◎民事判例研究(通年)	河上 他	Y505	(実) ◎★労働法	荒木	305	(実) ◎★経済法	白石	305
	(実) ◎★信託法	神作・沖野	21	(実) ★フランス憲法文献講読	小島	403				(実) ※◎★△比較ビジネス法制	唐津	403	(実) ◎★知的財産法	大淵	101
	(政) ※△現代日本外交	小原	26	(実) ◎ドイツ行政法文献講読	斎藤(誠)	A2				(基) ◎★現代アメリカ法(実習)	浅香	204	(全) ※★△国家と法の主要問題	石川(健)	A2
				(実) ◎★△国際法演習	寺谷	A1				(基) ※法の支配と所有権	両角	B2	(実) ※◎遺言法研究	加毛	A3
				(実) ◎★企業買収に関する日米会社法研究	飯田(秀)	303				(政) △アメリカ外交の諸潮流	久保	Y2	(実) ◎★刑事訴訟法の諸問題	大澤	303

集中講義:	(全) ※△Japan in Today's World	藤原
	(実) ※◎★台湾法の研究 一日台の企業法比較を中心に	大村 他
	(政) ※△(総文) Advanced Quantitative Social Science	今井

備考: ① (全)は全コース共通科目、(実)、(基)、(政)はそれぞれのコースの開講する科目であることを示す。ただし、科目によっては、他コースと合併で開設するものもあるので、「東京大学大学院便覧」で確認すること。
 ② 「※」は法学部と合併、「★」は法科大学院と合併、「△」は公共政策大学院との合併の授業を示す。「◎」は先端ビジネスロープログラム指定科目を示す。(通年)は通年開講、(隔週)は隔週開講、(月1回)は1ヶ月に1度開講で授業を行う。
 (総文)は総合文化研究科、(医)は医学系研究科、(人)は人文社会系研究科、(育)は教育学研究科、(新領域)は新領域創成科学研究科、(学)は学際情報学府、(情)は情報理工学系研究科との合併の授業を示す。(高)はリーディング大学院「活力ある超高齢社会を共創するグローバルリーダー養成プログラム」への提供授業を示す。
 ③ 「A1」~「A6」、「B1」~「B7」は法学部(法文1号館)演習室で、「Y2」は弥生総合研究棟の演習室で、「19」、「21」、「22」、「26」、「27」は法学部(法文1号館)各教室で、「101」、「102」、「201」、「203」、「204」、「301」、「303」、「304」、「305」、「402」、「403」、「404」は法学部(法文1号館)演習室で、「Y505」は弥生総合研究棟の研究会議室で、「本演」は第2本部棟演習室で、「駒場」は駒場キャンパスで、「東文研」は東洋文化研究所で、「社研」は社会科学研究所で、それぞれ授業を行う。「社研第2会議室」は308号室。